

授業科目 老年看護援助特論	科目概要・形式 2単位 30時間 (15コマ) 講義科目	配当年次 博士前期1年次 後期開講	オンライン参加 可
科目責任者	出貝 裕子		
科目担当者	出貝 裕子, 長内 志津子, 大崎 瑞恵, 花田 麻由美, 日向 園枝 (非常勤),		
1. 科目のねらい・目標 人生の最晩年を生きる高齢者及び家族が、その尊厳が尊重された日常生活を送り健康的に過ごすうえで必要となる日常生活ケアを提供できる実践力を養う。高齢者と家族の QOL 向上を目指し、高齢者と家族との関係性を理解し調整するとともに家族に必要な支援を提供できる実践力を養う。超高齢多死社会の我が国において、高齢者が自分らしく最期まで生ききることを家族とともに支えるエンド・オブ・ライフケアの実践力を養う。 到達目標 [1] 加齢および疾病により生活機能の低下した高齢者とその家族に対する日常生活ケア方法を説明できる。 [2] 在宅療養を継続する高齢者・家族に対する治療と生活を支えるケアの特徴および在宅で高齢者を介護する家族の支援ニーズを説明できる。 [3] 高齢者と家族に対する実践を振り返り、アセスメントおよび実践上の課題を分析し、その解決策を検討できる。 [4] 高齢者を介護する家族の身体・心理・社会的側面の支援ニーズや家族関係を理解し、高齢者と家族の関係調整の方法が説明できる。 [5] エンド・オブ・ライフを生きる高齢者とその家族の特徴が説明できる。 [6] エンド・オブ・ライフを見据え、高齢者の尊厳を最大化できる看護方法を探究し考察できる。			
2. 授業計画・内容			
回	授業内容	担当者	
1	生活機能障害のある高齢者と家族に対する日常生活ケア：コミュニケーション	出貝	
2	生活機能障害のある高齢者と家族に対する日常生活ケア：睡眠，生活リズム障害，活動	長内	
3	生活機能障害のある高齢者と家族に対する日常生活ケア：食事，口腔ケア，オーラルフレイル予防	長内	
4	生活機能障害のある高齢者と家族に対する日常生活ケア：排泄ケア，スキンケア	長内	
5	高齢者を介護する家族の心理状態のアセスメント，介護する家族の負担と介護を通じた成長プロセス	出貝	
6	介護家族の健康生活・介護力のアセスメント，高齢者と家族の関係調整	出貝	
7	在宅療養を継続する高齢者・家族に対する治療と生活を支える高度な看護方法；心不全	大崎	
8	在宅療養を継続する高齢者・家族に対する治療と生活を支える高度な看護方法；糖尿病	大崎	
9	慢性疾患を有する高齢者と家族へのキュアとケアを統合したケアマネジメント	大崎	
10	高齢者と家族の QOL 向上を目指した療養生活支援（実践事例に基づく討議）	出貝・花田	
11	高齢者と介護家族への支援で生じやすい倫理的問題やジレンマと倫理調整	日向	
12	エンド・オブ・ライフケアにおける症状・疼痛マネジメント	日向	
13	実践事例によるエンド・オブ・ライフを生きる高齢者とその家族への支援方法—意思決定支援の観点	日向	

14	実践事例によるエンド・オブ・ライフを生きる高齢者とその家族への支援方法—尊厳ある看取りの観点	日向
15	質の高いエンド・オブ・ライフケアにおいて老人看護 CNS に期待される役割	日向・ 花田・ 出貝
3. 教科書・参考書 (教科書) 鈴木和子他：家族看護学 理論と実践 第5版, 日本看護協会出版会, 2019 桑田美代子他：超高齢者の緩和ケア (EOLC for ALL すべての人にエンドオブライフケアの光を), 南山堂, 2022. (参考書) 岡本充子他：エンド・オブ・ライフを見据えた“高齢者看護のキホン” 100 看護管理者と創る超高齢社会に求められる看護とは, 日本看護協会出版会, 2015 会田薫子：ACP の考え方と実践：エンドオブライフ・ケアの臨床倫理, 東京大学出版会, 2024. 木下衆：家族はなぜ介護してしまうのか 認知症の社会学, 世界思想社, 2019. 鶴若麻理他：看護師の倫理調整力 専門看護師の実践に学ぶ第2版, 日本看護協会出版会, 2022.		
4. 成績評価方法 プレゼンテーション及び討議への参加状況 (40%), 課題レポート (60%) で総合的に評価する.		
5. 受講要件 なし		
6. 社会人学生に対する配慮 必要に応じて夜間・土曜日開講, オンライン参加 (ライブ) 可能		
7. その他		